



## ◆◆母乳から新型コロナウイルスは感染しない◆◆

米大学の論文で、新型コロナウイルスに感染した母親が母乳を通じてウイルスを赤ちゃんに感染させる恐れはないという研究結果が1月19日医学ジャーナルのPediatric Researchに掲載されました。これによりウイルスに感染後やワクチンの接種後に子どもに母乳を与えつづけてもよいとする専門機関の推奨が根付けられました。

新型コロナウイルスに感染した母親からの母乳を与えられた乳児が感染したことを示す「臨床的証拠」もなく、「母乳による育児は危険ではないと思われる」と論文の執筆者は述べています。

WHOは新型コロナウイルスに感染した女性が乳児に母乳を与える場合は、マスクを着用し赤ちゃんに触れる前と後に手を洗うなどの予防策を講じることを求めています。妊娠中や授乳中の女性のワクチン接種率は平均を大きく下回っていますが、これは混乱した公衆衛生のメッセージや、ワクチン接種が母子またはその両方に害を与えるという根拠のない誤った情報が横行していることが原因です。

CDC（米国疾病対策センター）は、授乳中の女性にもワクチン接種を推奨しており、ワクチンが母乳に含まれることはないとしています。

しかし母親の抗体が母乳に含まれることでウイルスに対するある程度の防御効果が得られるといえます。

## ◆◆花粉症対策 ◆◆

2月上旬から花粉が飛び始めますが、敏感な人はもうすでに鼻がぐずぐずとなっているみたいです。花粉飛散予測日 2週間程度前から薬物治療を開始しておくことをおすすめします。アレルギー症状とコロナウイルスの症状が類似することもありますので、ひとつひとつ症状を減らしておくことがこの時期は大切なのではないでしょうか。

〈花粉の飛散時期〉

スギ：年始～3月ピーク  
ヒノキ：4月ピーク  
イネ科：1年中  
ブタクサ：8～10月

花粉飛散時期はインターネットやTVなどのニュースで予測が報じられるため事前に対策を立ててみてください。

## ◆◆受診時のお願い◆◆


オミクロン株感染拡大のなか、家庭内感染が増加し、学校・保育園でクラスターが発生し学級閉鎖や登園困難になっています。受験シーズンも本格化を前に受験生は不安と警戒を強めていると思います。つらい時期だとは思いますが、みんなで協力してできることをできるだけしてこの時を乗り越えていきましょう。

・受診されるお子様が発熱している  
・家族で発熱・体調が優れない方がいる



受診される前にクリニックに  
お電話をお願いいたします。

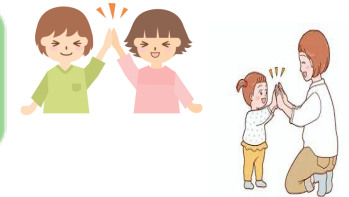
・まわりでコロナ陽性者がいる  
・濃厚接触者である



**福岡市コロナウイルス感染症相談ダイヤル**  
**092-711-4126**  
こちらに電話していただいて指示をもらってください。

アイチケットで診察の予約をとることができます。（順番の3～4番前までにはご来院ください）  
順番の予約が完了しましたら、そのままWeb問診を入力できるようになっています。  
症状や周りの流行状況など詳しく入力していただきますと、来院される前に把握することができますのでご助かります。  
感染を広げないためにもスタッフ一同、日々試行錯誤しながら対策をして診察を行っておりますのでご協力をお願いいたします。

最近子どもたちがハイタッチをよくしてくれます。以前からもやってくれていましたが、コロナ禍になり特に増えているほうな気がします。少しでも楽しくこの鬱屈とした時を過ごしたいという子どもたちの声なき声が聞こえてきます。



スタッフの子どもたちの周囲もあちらこちらでコロナ感染が起きてきています。誰も悪いことをしてはいない。ただコロナウイルスが私たちのそばに近づいているということ。でも仕事を休まなければいけなくなり、ご迷惑をおかけしますと言わなければならない。周囲を気遣う思いやりの心に感謝はしつつも、スタッフ全員で今を戦っています。

## 「2月の代診の先生のお知らせ」

1日と15日の火曜日の午後の診察は畠添先生となっております。  
診断書の記入や体重チェック、臍ヘルニアの診察の方は院長先生の診察日に来院していただくようお願いいたします。

「診療時間」月曜・火曜・木曜・金曜：9時～12時、14時～18時（17時30分受付終了）予防接種専門外来：14時～15時  
水曜：9時～12時、土曜：9時～13時  
健康診断（4か月・10か月・1歳6か月）：月曜・火曜・水曜・木曜・金曜（予約制）

